

## 1. これまでの国際交流

本地域支援プロジェクトでは、2010年度のプロジェクト開始時から、国際的な水準での地域支援活動に関する知見を取り入れるため、国際交流に取り組んできました。中でも、定期的なスウェーデンとの交流活動を継続して行っています。

スウェーデンは、国内全土で18歳未満の子どもを対象とした、心理臨床実践・精神科治療実践に関する地域支援システムを構築しています。本プロジェクトが目的としている、地域支援と実務教育の架橋という点において学ぶべき事が多い国です。

これまで、2011年3月、2012年9月、2014年3月に3度の訪問を行ってきました。今回は、土岐と小澤が2014年3月に行った国際交流について報告します。



ストックホルム市の  
BUP Traumaenhet 外観

## 2. スウェーデン訪問の概要

訪問日時	訪問先	場所
2014/3/15	Takashi Yoshitake PhD. カロリンスカ研究所客員教授	ストックホルム
3/16	ウプサラ大学 心理学部	ウプサラ
3/18	Moa Mannheimer BUP Traumaenhet 主任, 心理士	ストックホルム BUP Traumaenhet
	Tarje Falck-Ytter KIND 研究員/ウプサラ大学研究員	ストックホルム KIND
	Aiko Lundequist, PhD. KIND 研究員/ストックホルム大学研究員	ストックホルム KIND, Astrid Lindgren Children's Hospital
3/20	Harald Sturm, MD. BUP Farsta ユニット長	ストックホルム BUP Farsta

### 3. KIND 訪問

KIND (Center of Neurodevelopmental Disorders at Karolinska Institutet) は、世界有数の医学系研究機関であるカロリンスカ研究所において、2010年に開設された発達障害に関する実践的研究部門です。

今回の訪問では、自閉症スペクトラムの視線分析を用いた早期発見研究を行っている Tarje Falck-Ytter 氏および、低出生体重児のフォローアップ研究を行っている Aiko Lundequist 氏とお会いしました。施設内を案内して頂くとともに、世界的な発達障害研究の流れについて情報交換を行いました。



KIND の待合室の風景



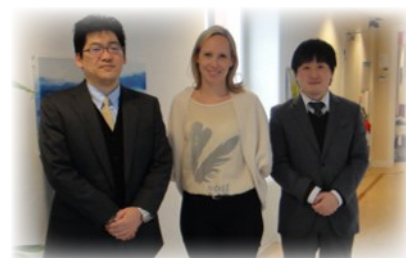
Tarje Falck-Ytter 氏とスタッフ

### 4. BUP 訪問

BUP (Barn- och Ungdomspsykiatri) とは、スウェーデンの自治体が運営する子どもを対象とした医療センターです。今回の訪問では、虐待やトラウマのケアを行う BUP Traumaenhet と、精神科・神経科ユニットである BUP Farsta を訪問しました。

BUP Traumaenhet では、主任である Moa Mannheimer 氏とお会いし、性虐待を受けた児童に対するケアの情報交換を行いました。また、これまでの交流で土岐が日本語版翻訳権を得た、性虐待支援プログラムである VASA Tool Box の翻訳状況について報告し、今後日本でのワークショップ開催の可能性について話し合いました。

BUP Farsta では児童精神科医の Harald Sturm 氏をはじめとしたスタッフとお会いし、土岐が行っている日本における発達障害の早期発見・早期支援に関するプレゼンテーションを行い、スウェーデンの状況との比較検討のディスカッションを行いました。



Moa Mannheimer 氏とスタッフ



BUP Farsta スタッフとのディスカッション